○実施日時/令和4年8月9日 9時40分~10時10分

# ○発言要旨

議事	発言
議事 次第1「本市の新 型コロナウイルス 感染状況等につい て」	発言  ※ 川崎市のモニタリング状況について資料に基づき、岡部所長から説明を行った。 【岡部所長】 ・全国の状況も少し減少しており、ピークを外れるか外れないかで続いているが、東京を追っかけながら動いているというのが現状だと思う。 【本部長】 ・市中の発熱外来は、連日大盛況と何っている。医療機関もかなり疲弊している中で、特にお盆に医療インフラが手薄になってしまうことから、医師会の協力のもと、一部の休日急患診療所でコロナ診療を開始する。また、町場のクリニックにおいても通常の発熱外来を延長して夜間対応に協力いただけるところもある。 ・病床回りで言うと、感染にピークアウトの兆しが見えてきたが、入院ニーズが若干遅れてくるので、市内の病院関係者ともこの1~2週間が勝負との認識を共有している。 ・熱中症のシーズンと被っているため、市内の医療機関にはコロナと熱中症で役割分担をして頑張っていただいている。  ※ 新型コロナワクチンの接種状況について資料に基づき、健康福祉局から説明を行った。 【本部長】 ・ワクチンの接種率が増えてきたということか。 【健康福祉局】 ・感染状況がかなり拡大していることを見て、市民の方々の中でも今まで様子見
次第2「市内経済	※ 資料に基づき、経済労働局から説明を行った。
の状況について」	
次第3「新型コロ ナウイルス感染症 対応(案)につい て」	【本部長】 こちら審議事項となります。  【財政局】 ・新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金について、令和3年度からの繰り越し分の一部と今年度交付分の活用が未定となっている。先月26日

に開催した経済対策プロジェクトで、交付金を活用した取り組みについて検討を行った。結果として資料の四角枠の中にあるように51の取り組み案を 纏めた。

- ※ 取組内容については資料に基づき、財政局から説明を行った。
- ・以上のことを議会に補正予算の議案として提出したい。

## 【本部長】

本件について、何か質問等があればお願いします。特になければ、この方針で進めたいと思います。

# 次第4「新型コロナウイルス対策に関する各局区の取組」

※ 資料に基づき、事務局から説明を行った。

### その他

### 【本部長】

・第7波の拡大を受けて本市職員も自宅療養や待機者が増えているが、特に病院 局や消防局の職員の出勤状況はいかがか。

### 【病院局】

・市立3病院の出勤停止状況ですが、5日から8日の時点で、川崎病院が113 名、

井田病院が22名、多摩病院が68名、合計203名という状況。

・井田病院と多摩病院については、なんとか中の職員で通常業務を継続できている。川崎病院については、かなり厳しい状況で複数の病棟で病床の休床をしている。しかしながら、職員の配置転換や応援体制を行い、コロナ患者ならびに救急患者の受け入れは今まで通り対応している。

### 【消防局】

- ・昨日時点で、局内が4名、各消防署が0~最大10名とばらつきがあるが合計 31名。消防局内合計で35名がコロナ関係での出勤見合わせとなっている。
- ・消防隊、救急隊の業務に従事する番が2つあるため、7日の日曜については最大11名休んでいる署があったが、必要に応じて局の方から応援を送って対応している。

### 【本部長】

- ・両局ともに頑張っていただいていることに感謝申し上げたいと思う。
- ・各局区で人を融通して対応していただいてありがとうございます。
- ・濃厚接触者が多数出ているため、一日のでっぱり引っ込みが多いので、一律の BCPという対応が難しく、今後も柔軟に対応をしていかなくてはいけない と思っているので引き続きの協力をお願いします。
- ・職員も感染者や濃厚接触者が増えているので、体調が悪い方やコロナが疑われる方については、これは市民の皆様にもお願いしていることだが、診療所に押

し掛けるようなことはせずに、簡易検査キットを郵送してもらい、そこで検査をしてというような形にして、病院や診療所のひっ迫を避けるように全庁ー丸となって取り組むことを皆さんと改めて確認したいと思うので、協力をお願いします。

・他なにかありますか。なければこれで終了します。

以上